

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

運営方針

公共工事の前払金保証事業を通じて、公共工事の適正な施工と建設業の健全な発達に寄与する

電子保証導入府県
22府県

電子保証導入市町村
288市町村

前払率4割以上市町村
656市町村

中間前払金採用市町村
664市町村

② 中長期の経営戦略

1. お客様サービス向上

インターネット活用による保証申込手続き充実やデジタル化推進。
地域差なく前払金・中間前払金利用できるよう制度推進と電子保証普及促進

2. コミュニケーション深化

Face to Face重視で信頼関係強化。公共発注者へのきめ細やかな情報提供。地域特性に応じた建設業団体を通じた業界貢献

3. グループ業務体制強化

持続可能な事業運営実現のため抜本的業務見直しと社内DX加速。金融情勢変化に対応し付加価値高い事業推進に取り組む

③ 対処すべき課題

① 建設業の経営環境悪化

- ・資機材価格高騰・人件費上昇による実質投資額減少
- ・担い手不足や生産性向上への対応が急務
- ・中東情勢の長期化・深刻化の懸念

② 地域建設業への対応

- ・地域差なく前払金利用できる環境構築
- ・公共発注者への情報提供強化
- ・建設業団体を通じた支援体制

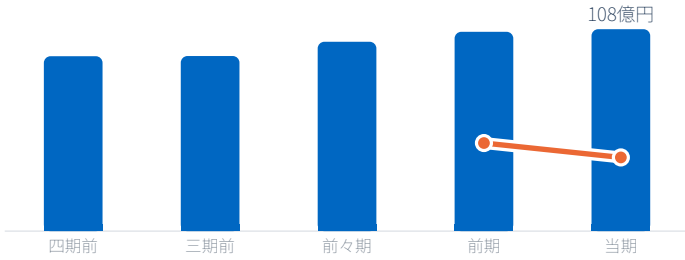
③ DXと業務効率化

- ・インターネット保証サービスの機能改良継続
- ・電子保証の普及促進拡大
- ・社内DX加速による持続可能な事業運営

面接で使えるポイント

- ・前払金保証事業を中核に、西日本674市町村で98.5%の中間前払金採用率達成。公共性高く地域密着した事業で社会貢献
- ・中期経営方針2026-2028年度で、デジタル化推進とFace to Faceコミュニケーション両立させ…
- ・資機材価格高騰・担い手不足など建設業の課題解決に向け、社内DX加速と業務体制強化で付加価値事業に取り組む

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
108億円営業利益率
36.5%財務健康度
74点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 50.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
－（未開示）平均年齢
－（未開示）平均勤続
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

要するに

当社が主として次の事業を行っており、更に当該事業に付随する業務及び建設業に関する

主力事業・セグメント

- ・ 保険業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・ 営業利益率36.5%と高い収益性
- ・ 財務健康度74点と財務基盤が健全

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

